

くまもと文学・歴史館トピック展示

「上妻博之と牧野富太郎」

◆会 期：令和5年（2023年）6月2日(金)～7月20日(木)

◆会 場：展示室2



Kumamoto Museum of Literature and History

展示資料

No.	資料名	員数	作者・著者	時代	所蔵
1	勝國治水遺	1	上妻博之筆写	昭和25年（1950年） 10月23日起筆	熊本県立図書館 上妻文庫142
2	勝國治水遺	1	伝・鹿子木量平著	—	熊本県立図書館蔵
3	牧野富太郎葉書	1	牧野 富太郎	昭和25年（1950年） 11月6日消印	くまもと文学・歴史館蔵
4	牧野富太郎から贈られた雑誌及び封筒	1	牧野 富太郎	昭和27年（1952年） 2月25日消印	くまもと文学・歴史館蔵
5	牧野富太郎書簡（封筒・便箋・図版）	1	牧野 富太郎	昭和29年（1954年） 9月30日消印	くまもと文学・歴史館蔵



「植物学」と「歴史学」の二刀流

上妻 博之
Kozuma Masayuki

明治 12 年(1879)～昭和 42 年(1967)
熊本市生まれ
植物学者、郷土史研究家

10 代頃から郷土の人物等の事績を調査、帆足長秋らの国学や細川藩の歴史等を研究した。長年にわたり肥後に関する古文書・古記録を筆写し、和装本に仕立てて遺した。初めて勤務した熊本高等小学校で、山崎又雄と出会い、植物学研究を開始し、やがて牧野富太郎に師事した。九州学院で博物学教師を勤めながら、熊本記念植物採集会を創設し、後進の指導・知識の普及に取り組んだ。熊本県立図書館には、「上妻文庫」（438 点の写本群）、「ガラス乾板」（県内各地の老樹名木の写真）等が所蔵されている。勲四等瑞宝章受章、熊本県近代文化功労者。



「日本の植物学の父」

牧野 富太郎
Makino Tomitaro

文久 2 年(1862)～昭和 32 年(1957)
高知県佐川町生まれ
植物学者

幼少から植物に興味を持ち、独学で植物の知識を身につけた。明治 17 年(1884)に東京大学理学部植物学教室への出入りを許され、植物分類学の研究に打ち込む。94 年の生涯において収集した標本は約 40 万枚といわれ、蔵書は約 4 万 5 千冊を数える。新種や新品種など約 1500 種類以上の植物を命名し、日本植物分類学の基礎を築いた一人である。日本の植物相を解明しようと『日本植物志図篇』や『大日本植物志』などを出版。代表作『牧野日本植物図鑑』は、現在まで改訂を重ね、植物図鑑として広く親しまれている。文化勲章受章。